

イチゴの病害虫の発生状況（11月上旬）

うどんこ病

発生ほ場割合は平年並でした（図1）。蔓延すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底してください。

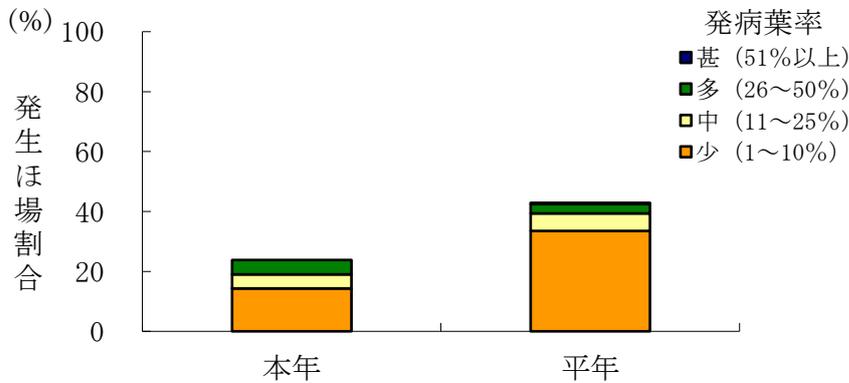


図1 うどんこ病の発生状況

土壌病害（炭そ病・萎黄病）

発生ほ場割合は平年並でした（図2）。巡回調査では炭そ病が確認され、育苗時に発生し、本ほに持ち込まれたと考えられます。発病株および発病が疑われる株は速やかに抜き取り、ほ場外に持ち出し、適切に処分してください。

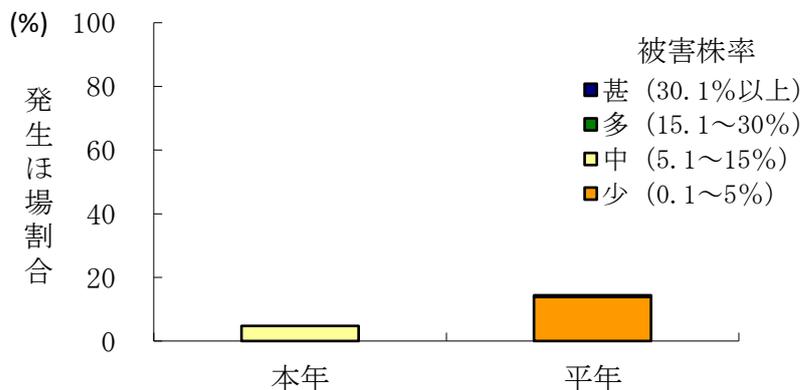


図2 土壌病害の発生状況

アブラムシ類

発生ほ場割合は平年並でした（図3）。一部のほ場で果梗への寄生が確認されています。低密度時から薬剤防除を実施してください。

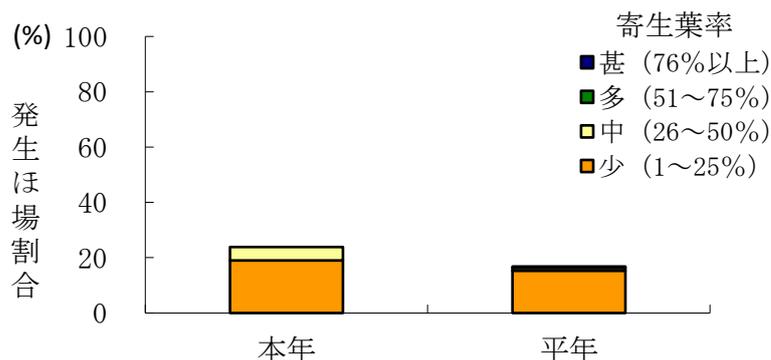


図3 アブラムシ類の発生状況

ハダニ類

発生ほ場割合は平年並でした（図4）。早期発見に努め、低密度時から防除を実施してください。抵抗性の発達が懸念されるので、薬剤の選択には注意してください。

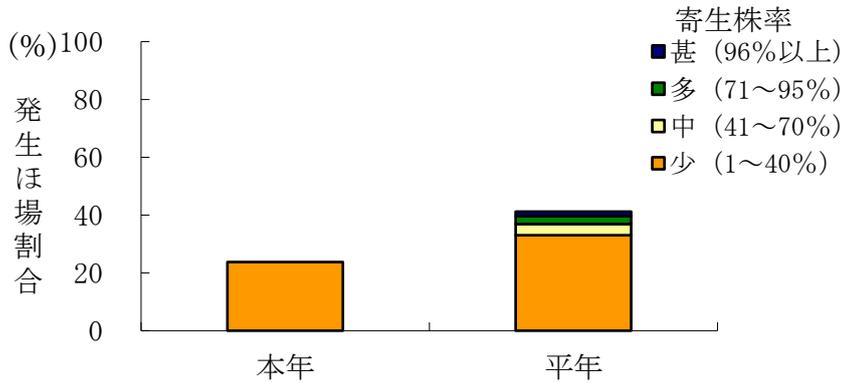


図4 ハダニ類の発生状況

コナジラミ類

発生ほ場割合は平年並でした（図5）。密度が高くなるとすす病発生の原因となるので、低密度時から防除を実施してください。また、ラノーテープを使用している場合でも、寄生密度が高いほ場では防除を実施してください。

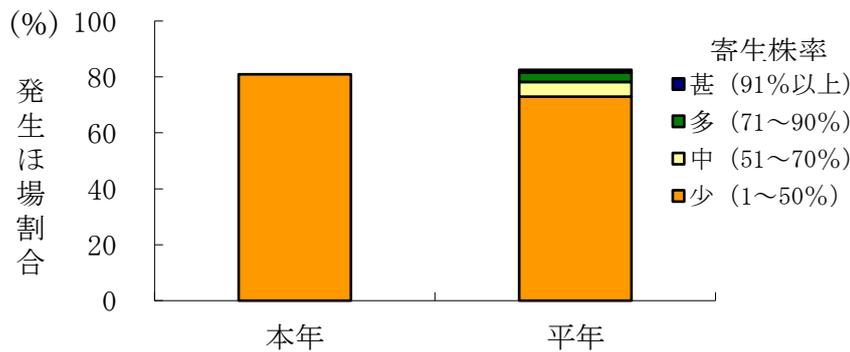


図5 コナジラミ類の発生状況

ハスモンヨトウ

発生ほ場割合は低い状況でした（図6）。防除が遅れると被害が大きくなるので、被害株周辺を中心に防除を実施してください。

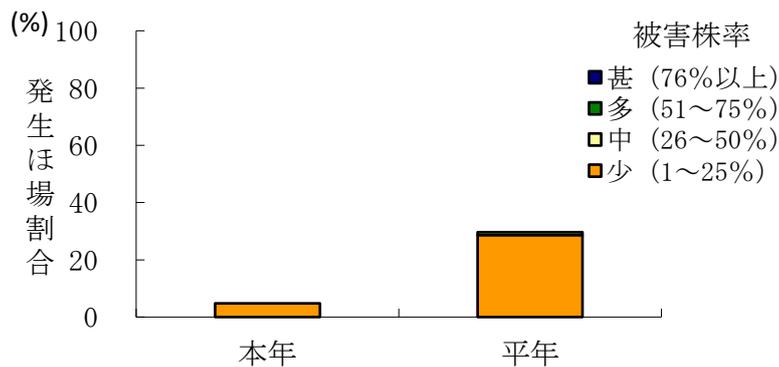


図6 ハスモンヨトウの発生状況

アザミウマ類

巡回調査においては、寄生は確認されませんでした（図7）。発生状況をよく確認し、発生が認められる場合には早めに防除してください。

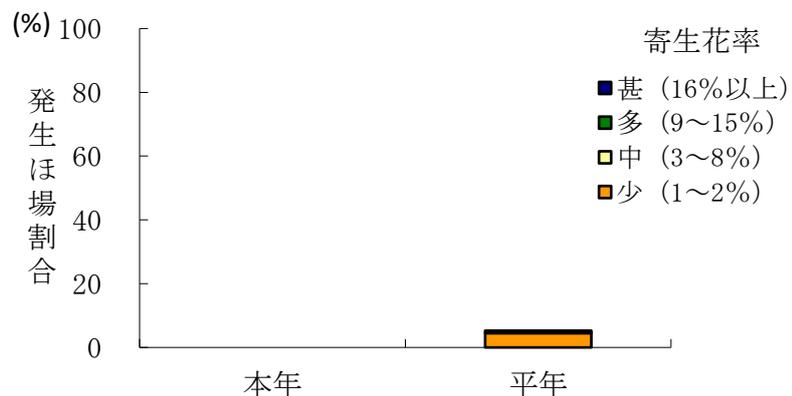


図7 アザミウマ類の発生状況

- 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727

e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp